

Governor's Monthly Letter

2022年1月号
Vol.7

2021-2022年度

国際ロータリー第2640地区

ガバナー月信



1月は「職業奉仕月間」です。

明けまして
おめでとうございます。

地区スローガン「広げようロータリーの光を！」



ガバナー 豊岡 敬

ガバナー事務局



奉仕しよう みんなの
人生を豊かにするために

〒640-8331
和歌山市美園町3丁目34番地
けやきONE 301号室
TEL 073-426-2640
FAX 073-426-2660
E-mail toyooka@rid2640g.com

CONVENTION.ROTARY.ORG

ヒューストン(米国テキサス州) 2022年6月4～8日

Rotary   HOUSTON
2022



世界を変える行動人

2024年までのロータリーの行動計画は、「より大きなインパクトをもたらす」、「参加者の基盤を広げる」、「参加者の積極的なかわりを促す」、「適応力を高める」ことです。

より大きなインパクトをもたらす



参加者の基盤を広げる



参加者の積極的なかわりを促す



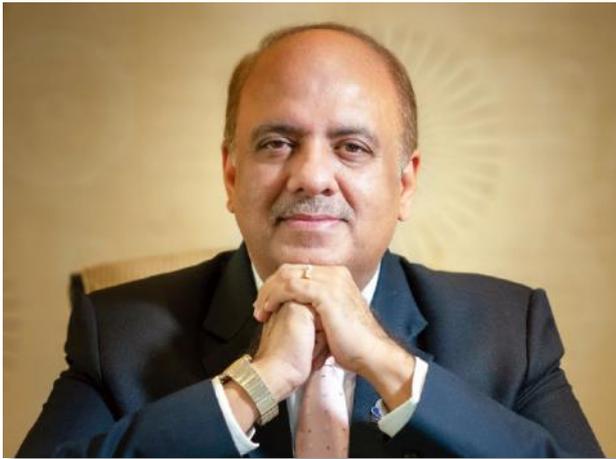
適応力を高める



表紙写真は、富田林市の全景です。

目次

RI会長メッセージ	1
ガバナーメッセージ	2
職業奉仕月間に寄せて	
地区職業奉仕委員長 角谷 浩二	3
実践しよう ロータリーの職業奉仕	4
【ガバナー公式訪問】	
12月1日～12月16日	5
【Rニュース】	
RCで職業のスキルや知識を生かしてみませんか	6
予防接種に関するRIの見解表明	7
RC 多様性・公平さ・インクルージョンの促進	8
【地区活動報告】	
ロータリー研究会で当地区が表彰される	9
イヤーエンドパーティー 米山記念奨学委員会	10
森本ガバナーエレクト国際協議会激励会	11
国際ロータリーの2020-21年度年次報告	12
新会員の紹介	13
ハイライトよねやま Vol.261	14～15
コーディネーターニュース 1月号	16～17
会員数報告(2021年11月)	18
My ROTARY登録状況	19
地区大会、記念ゴルフのご案内	20
1月の行事予定表	21



PRESIDENT'S MESSAGE

R I 会長メッセージ

国際ロータリー会長
シェカール・メータ

親愛なるチェンジメーカーの皆さん

ロータリーの草創期の基本理念の一つは、「世界でよいこと」をするために、医師でも弁護士でもエンジニアでもどんな職業でも、それぞれの職業を生かすということでした。新型コロナ収束の兆しをつかみ、復興を図る今、この基本理念は失業した人々に再就職の訓練を実施する上で、非常に重要です。そのため、タマル・香港ロータリーEクラブは、若者を対象に、変化するビジネスの世界に備えるためのセミナーを企画しました。

このような研修は大規模に行われるべきです。国連によると、世界の失業者数は2022年には2億人を超える見込みだといいます。特に女性と若者の間で失業率が高まりそうです。

だからこそ、私は今年度、女子のエンパワメントのプロジェクトを強調しているのであり、そういったプロジェクトが実施されているのをうれしく思っています。教育と就業の機会が損なわれるのは、水と衛生のインフラが整備されていないがためでもあるのですが。

インド西部の都市プネーでは、女性に低価格で再利用可能な生理用ナプキンを、女性に提供するプロジェクトが行われています。このプロジェクトでは生理用ナプキンの製造と販売で雇用を創出します。これにより、現在インドで年間消費される123億個の生理用ナプキン（そのほとんどが埋め立て地に廃棄される）のごみを減らすことができます。

職業サービスにより、女性のエンパワメントを推進しているところもあります。インドのプーナ・ロータリークラブは若い女性が虐待や人身売買の被害から身を守るように護身術を教えるワークショップを開催しています。

私はロータリーを通じて職業を生かしてよいことをする機会に恵まれてきました。2004年のスマトラ島沖地震では、私の地区にあるアンダマン・ニコバル諸島に壊滅的な被害が出ました。何千軒もの住宅が全壊し、多くの地域で

電気と水の供給が止まりました。小アンダマン島を訪問した際には、建築に携わる職業人として、家を失った住民たちのために住宅を建てたい衝動に駆られました。それで、小アンダマン島に500軒の住宅を建てることを決意しました。

この島は7回訪れたのですが、最後に訪れた際、ヘリコプターから何か光るものが見えました。それは新築の家々の屋根でした。この光景に私は心から感動しました。徐々にあることが分かってきました。職業柄、私はこれまでさまざまな建物を手掛けてきました。それに比べると、小アンダマン島の500軒の住宅は、私が手掛けた中でもごく一般的な家で、おそらく二度と訪れることはないであろう島の、二度と会うことがないであろう人々のために建てたものです。しかし、住民の方々に完成した住宅を引き渡すときの充足感は、これまで建てたどんな建物よりも大きかったです。おそらく、自分の仕事を生かしてみんなの人生を豊かにするために奉仕したからなのでしょう。

皆さんにも、みんなの人生を豊かにするための奉仕の中で、職業上のスキルを活用する機会がこれまでにあったことと思います。ロータリーを通じて職業人として奉仕した経験についてぜひお聞かせください。最後に、会員みんなが新しい会員を1人、ロータリーに紹介するイニシアチブ「Each One, Bring One」(みんなが1人を入会させよう)に協力してくれた全てのクラブに感謝します。会員数を増やすことは、あらゆる種類の職に就いている人々に、知識とスキルを生かして、人生を変える奉仕を行う機会を与えることとなります。

Shekhar Mehta

President, Rotary International

ガバナー メッセージ

2021-22年度 国際ロータリー第2640地区

ガバナー 豊岡 敬

1月は「職業奉仕月間」です。

国際ロータリー第2640地区の皆様、新年おめでとうございます。旧年中は、ガバナー公式訪問等で、大変お世話になりました。ありがとうございます。

今年も、よろしく願いいたします。



昨年は、新型コロナウイルス感染症で、仕事においても、ロータリー活動においてもなかなか困難が伴う1年でした。今年こそは、感染症が終息し、平穏な毎日に戻って欲しいものです。

皆様は、新年を迎えるに際し、今年の目標を立てられましたか？仕事の上で目標を立てることは重要なことです。ロータリーが他の団体と違うところは職業奉仕という考えを持っていることです。我々ロータリアンは、自己改善を重ねて、自分の職場を健全に守ると共に、取引先・下請け業者・従業員・顧客など、自分の事業と関係を持つ人に幸せをもたらすことが大切です。その心を持って事業を営めば、必ず最高の利益をもたらすことが可能です。我々は、職業を通じて、自分の周りにいる人を幸せにする目標を掲げて、社会や事業の発展に寄与していきましょう。



職業奉仕月間によせて

地区職業奉仕委員長 角谷 浩二

過去にRI(国際ロータリー)では職業奉仕が無くなった時代がありました。しかし三年の後に日本ロータリーの努力により復活しております。今、再び滅亡の危機に瀕しております。RIはロータリー金看板である職業奉仕を社会奉仕の小委員会としております。これはRIがロータリーの職業奉仕をはき違えているのではないかと考えております。

ロータリーは他の奉仕団体のような社会奉仕を第一義に考えている奉仕団体ではございません。ましてや、単なる慈善団体でもなく寄付団体でもありません。ロータリーは会員の「職業倫理」を追求することが第一義です。職業奉仕とは、世のため人のために如何に役に立つ商品を生産又は販売するかを考え、それによって世の中が発展し皆が幸福になっていく。そして、その反射的效果として自分が儲かるのです。ここで問題となるのが「自分のお金儲け」が何故「世のため人のための奉仕」に結びつくのかです。これが職業奉仕最大の難問です。これを解くにはまずロータリーは個人の資格によって奉仕活動やボランティア活動を行なうということを理解しなければなりません。もし人を泣かせ人を騙した人間が平気な顔をして奉仕活動をしていたならばそれは真の奉仕と言えるであろうか。もし、人を泣かせ人を騙した人間が平気な顔をしてボランティア活動をしていたならばそれは偽善者です。ロータリーは違う。ロータリーの奉仕とは、職業奉仕の実践によって得たお金で、まずは自分の家庭や従業員を養い、そしてその余ったお金の一部を奉仕に使う。そしてその人間の労働時間の余暇を使ってボランティア活動をする。「職業倫理」の実践によって生まれた「倫理に基づくお金や人」によってロータリーは初めて社会奉仕やボランティア活動が実践されるのです。倫理に基づくお金や人が基礎となり初めて奉仕が実践されるということを知っておかなければなりません。不浄なお金や人間が奉仕やボランティア活動を行なうことはできません。これがロータリー活動の「お金儲け」と「奉仕」の関係です。

次に、I SERVEについてお話させていただきます。ロータリーは個人の資格によって活動を行う「I SERVE」個人奉仕ですが、他の奉仕団体は「WE SERVE」団体奉仕です。両者とも同じような奉仕活動をしているのにどの様な違いがあるのかという問題が生じます。これは、奉仕への精神性の違いから生じるものです。例えば、駅前の清掃奉仕を行ったとします。他団体は「我々は」です。我々は皆でこの清掃活動を行うと答えます。しかし、ロータリーは「私は」です。「私は駅前の清掃活動をする事により、この街に初めて来た人が駅に着いた時、なんと美しい街であろうと思われることを信じて奉仕活動を行い、皆も同じ志を持って活動しております」と答えます。つまり個人奉仕でありながらその個人奉仕活動の集まりとしてロータリー活動が成り立っているのです。では、ロータリークラブの「クラブ」とはどのような役割を持っているのかです。まず、職業奉仕の考えからすると、ロータリアンは職業を持っております。その職業からのお金で奉

仕活動を行うことが出来ます。しかし、ロータリークラブは職業を持っておりません。故に、お金を生み出さないクラブが如何にして奉仕活動ができるのかです。ロータリーのクラブとは事務的な役割だけです。会費を集め、各種の支払いをする。委員会で決まった事柄を会員に連絡する。奉仕への参加は各会員の考えで決まります。クラブは決して会員に奉仕を強制することはできないのです。



次に、例会の重要性についてご説明させていただきます。クラブの定款細則に基づく休会以外は必ず毎週一回の例会を開かなければなりません。何故、ロータリーは毎週例会を開催しなければならないのかです。そして一時間の例会時間の半分を卓話が占めております。他団体ではこのような卓話はありませんし、例会も多くて二週間に一回です。ロータリーの「例会」とは、ロータリアンへの倫理の向上特に「職業倫理の向上」を最重要視しております。まずは例会で「倫理を学べ」なのです。そのための卓話です。卓話で良質な話を聞き、時には自分が先生となり皆に話をし、その繰り返しによって徐々に自分の心が洗われ自然と倫理観が身に付いてくるのです。そして、それを持って職業に家庭生活に倫理という教えが根づくのです。いわばロータリーは義務教育の学校です。学生は毎日学校に通いますが、ロータリーは毎日例会を開催するわけにはいきません。故に最低週一回例会を開催することによって「学び」を実践するのです。「入りて学び、出でて奉仕せよ」という言葉があります。奉仕を実践する人間を教育する機関として成り立っているのがロータリーの例会です。

次に、ロータリーの「本質」についてお話をいたします。近年、ロータリーは社会奉仕に重きを置きすぎるのではないかと考えられます。ロータリー定款における「ロータリー四つの目的」はあくまでも奉仕活動の「指針」としての目的でありロータリーの本質ではありません。本質から言えばそれは「手段」として考えなければなりません。会員が人間として進む倫理を学ぶための手段として社会奉仕や各種の奉仕活動が存在するのです。決して奉仕を実践するのが本質ではなく、それを行うロータリアンの倫理の向上を目指す、いわば「人づくり」これこそがロータリーの本質です。

職業奉仕は難解であるとよく言われますが決してそうではありません。奉仕にはお金が重要な要素となります。職業奉仕の実践とは平たく言えば「お金儲け」です。しかし職業奉仕は儲けの「多い、少ない」を問題としておりません。お金を儲けるための「方法」を問題としており、その「四つのテスト」はその実践論です。職業奉仕の実践によって生み出されるお金や人が奉仕の基礎となり、土台となってロータリーの全ての奉仕活動が成り立っていることを理解しなければなりません。

実践しよう ロータリーの職業奉仕



「職業奉仕」という概念

「ロータリーの目的」は、ロータリーの存在目的とロータリアンの責務について記した哲学的な声明です。職業奉仕は、「目的」の第2項を土台としており、この項で、ロータリアンは次のことを奨励し、育むことが求められています。

- ・ 職業上の高い倫理基準
- ・ 役立つ仕事はすべて価値あるものという認識
- ・ 社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものとする

職業奉仕はどのように実践できるでしょうか。以下にいくつかの方法をご紹介します。

- ・ 例会で、各会員が自分の職業について話し、互いの職業について学び合う
- ・ 地域社会での奉仕プロジェクトで職業スキルを生かす
- ・ 高潔さを重んじて仕事に取り組み、言動を通じて模範を示すことで倫理的な行動を周囲に促す
- ・ 若者のキャリア目標を支援する
- ・ 専門能力の開発を奨励し、指導する

職業奉仕はロータリーの核心であり、世界中の地域社会で奉仕を行う土台となるものです。

高潔性と倫理

ロータリーでは、高潔性と高い倫理を重視しています。その中でロータリアンによって生みだされたのが、「四つのテスト」と「ロータリアンの行動規範」の2つであり、職場や生活のあらゆる場面で倫理的行動を実践するための指針となっています。

ロータリアンの行動規範

「ロータリアンの行動規範」は、「四つのテスト」と並び、すべてのロータリアンが事業や専門職において指針とできる、倫理的行動の枠組みとなるものです。ロータリーの職業奉仕では、地域社会のニーズに取り組み、支援を必要とする人たちが自らの力で生活を立てていけるよう支援するために、職業の知識とスキルを活用することが求められます。

職業奉仕



平和

四つのテスト

言行はこれに照らしてから

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

【ガバナー公式訪問】

12月1日

堺おおいずみロータリークラブ

会長 樋口 淳

幹事 丸山 孝明



12月2日

那智勝浦ロータリークラブ

会長 後 誠介

幹事 松下 裕次郎



12月8日

粉河ロータリークラブ

会長 平井 貴

幹事 牛丸 和一



12月14日

高石ロータリークラブ

会長 永谷 孝寿

幹事 嶋田 充伸



12月16日

富田林ロータリークラブ

会長 辰巳 泰啓

幹事 柳本 浩一



【RIニュース】

ロータリーで職業のスキルや知識を生かしてみませんか

ロータリーでは現在、「ロータリー財団専門家グループ」(Cadre)のメンバーとなるロータリアンを募集しています。メンバーは、ロータリーの重点分野または財務監査におけるスキルを生かし、補助金プロジェクトの計画・実施にあたるロータリー会員にアドバイスを提供します。

また、これらの分野のプロジェクト(日本国内も含む)の視察や監査も担当します(補助金に関する知識や経験は必ずしも必要ありません。財務監査については重点分野を問わず、会計関係の有資格者をご登録いただけます)。ご登録の申請は「補助金センター」からお願いいたします(応募締切日:2022年2月28日)。

専門家グループに関する詳細はこちら <https://on.rotary.org/30TN9Jk>

「疾病予防と治療」の分野における専門家グループメンバーとして、私はこれ以上ないと言えるほどの素晴らしい活動を経験できました。何千人もの命を救うための健康診断を実施したり、治療費を払う余裕がない人びとに高度ながん治療を提供したり、医療従事者への研修やインフラ整備に取り組んでいるロータリー会員の方たちと出会いました。

ジョン・フィリップさん
ニューベリー・ロータリークラブ(英国) 会員

予防接種に関する国際ロータリーと ロータリー財団の見解表明

ロータリーは、子どもたちへの一斉予防接種を通じて「ポリオのない世界」を実現するというビジョンを初めて描いた団体として、予防接種をするという決断は人道的に必要不可欠であると考えています。国際ロータリー理事会とロータリー財団管理委員会は、次のことを信じています。

1. 全世界における予防接種こそが、新型コロナウイルスの世界的流行を終息させるための方法です。私たちは、会員を含め、すべての人に対して予防接種を強く奨励します。
2. 誤情報が新型コロナウイルスとの闘いを妨げています。私たちは、科学に基づく情報を会員に提供することに力を注いでいます。
3. ロータリーは、すべての人がワクチンに公平にアクセスできるよう取り組んでいます。私たちは、GAVIワクチンアライアンスとの共同の取り組みを通じて、ポリオ根絶活動における前線での活動を生かし、ワクチン配布を促進しています。
4. ロータリーは、救命医療を提供している各地の医療従事者に敬意を表します。私たちは、各クラブが地元でこれらの英雄を称え、勇気と意欲を与えることを奨励します。
5. ロータリーでは、新型コロナウイルス感染症の予防とワクチン接種を支援する取り組みを倍増させるよう、ロータリークラブとローターアクトクラブに奨励しています。
6. 現代医学の最大の進歩の一つであるワクチンは、安全で効果があり、毎年数百万人もの命を救っています。ポリオ、天然痘、はしか、エボラ出血熱といった数々の疾病の根絶や抑制においてワクチンが役割を果たしており、現在、予防接種を通じて新型コロナウイルスの世界的流行を終わらせる機会が訪れています。
7. ポリオの根絶は、今もロータリーの最優先目標です。私たちは、ポリオとの闘いで学んだことを新型コロナウイルス対応に生かすために貢献できます。



多様性 (DIVERSITY)



公平さ (EQUITY)



インクルージョン、包摂 (INCLUSION)

ロータリーは、今年も「多様性・公平さ・インクルージョン」(DEI)の促進に力を入れていきます。持続可能な変化を生むために人びとが手を取り合って行動する世界の実現には、多様性、公平さ、インクルージョンのある文化が不可欠です。

私たちは、ロータリーのあらゆる活動において、「多様性・公平さ・インクルージョン」(DEI)を受容し、行動で示すべきであると信じています。

これを確実にを行うため、理事会とDEIタスクフォースは、2019年に採択されたDEIの声明の強化に取り組み、その結果として新たな「多様性・公平さ・インクルージョンへのコミットメント」が下記の通り採択されました:

ロータリーで私たちは、持続可能な良い変化を生むために人びとが手を取り合って行動する世界というビジョンの実現には、多様性があり、公平で、インクルーシブ(包摂的)な文化を培うことが不可欠であると理解しています。

私たちは多様性を重んじ、すべての背景、年齢、民族、人種、肌の色、障害、学習スタイル、宗教、信条、社会経済的立場、文化、婚姻状況、使用言語、性別、性的指向、ジェンダー自認だけでなく、異なるアイデア、考え、価値観、信念を持つ人びとによる貢献を大切にします。

ロータリーへの入会、参加、リーダーシップの機会といった面で、歴史的に特定のグループの人びとが障壁に直面していたという点を認識し、すべての人が成功のためのリソース、機会、ネットワーク、支援への必要なアクセスを得られるよう、地域社会でのパートナーシップも含め、ロータリーのあらゆる側面で公平さを促進していくことに私たちは全力を注ぎます。

私たちは、すべての人が目に見える、または目に見えない本質的に独自の資質を備えていると信じています。また、自分が大切にされているとすべての人が感じ、帰属意識を持てるようなインクルーシブな文化を築くことに尽力します。

高潔性というロータリーの価値観に従い、DEI(多様性、公平さ、インクルージョン)にいたる旅路において組織として自分たちがどこにいるのかを正直かつ透明性をもって見据えるとともに、これからも学び、向上し続けていくことに全力を尽くします。

【地区活動報告】

ロータリー研究会で当地区が表彰される

12月5日～8日に開催されたロータリー研究会(付属事業を含む)において当地区が特別表彰及び地区表彰を受けました。

また、藤井直前ガバナーから、第3地域2022年ヒューストン国際大会推進コーディネーター補佐として、国際大会参加を呼び掛けられました。

- 2018-19年度ポリオプラスDDF寄贈地区表彰 ポリオ特別表彰



- DDFの20パーセント寄贈地区表彰



- 藤井直前ガバナーから、第3地域2022年ヒューストン国際大会推進コーディネーター補佐として、国際大会参加を呼び掛けられました。





米山記念奨学委員会 学友小委員長 新本 憲一

地区米山記念奨学委員会・地区米山学友会、合同開催による2021年イヤーエンドパーティーを、12月11日・大阪府泉大津市ホテルきららリゾート関空にて行いました。

奨学生全員18名・学友16名(家族2名)・役員委員12名・カウンセラー様10名(重複含む)、計55名が出席のもと新型コロナ対策を徹底しながら奨学生活動の報告や奨学生出し物・学友出し物等にて数時間の短時間開催でしたが親交を深めました。



森本ガバナーエレクト国際協議会激励会

12月19日(日) ホテルグランヴィア和歌山



参加した多くの皆さんから、激励の言葉が寄せられました。



地区の皆さんの期待に応え、健康に留意し、頑張ります。



2021年度 年次報告

国際ロータリーの2020-21年度年次報告がご覧いただけるようになりました。コロナ禍にあっても力強く活動を続けた昨年度の報告をご覧ください。

年次報告 2020-2021

国際ロータリー
ロータリー財団



<https://on.rotary.org/3dHNSQB>

- リーダーからのメッセージ
- 財務
- 寄付する理由
- アーチ・クランフ・ソサエティとレガシー・ソサエティ
- 年度を振り返る
- より大きなインパクトをもたらす
- 参加者の基盤を広げる



未来のために財団を強化する

新会員の紹介

ロータリーを体験し可能性を発見しよう

	クラブ名	河内長野ロータリークラブ
	氏名	よこやま しんじ 横山 真司
	職業分類	福祉業
	生年月日	1977年9月21日
	入会年月日	2021年11月5日

	クラブ名	田辺ロータリークラブ
	氏名	にしばた としひこ 西端 俊彦
	職業分類	土地家屋調査士
	生年月日	1970年8月3日
	入会年月日	2021年11月4日

	クラブ名	和泉ロータリークラブ
	氏名	ももだ たかひこ 桃田 隆彦
	職業分類	生活百貨
	生年月日	1954年2月22日
	入会年月日	2021年11月1日

ロータリーへようこそ!

多様な会員が
集まるクラブに



ロータリーへの入会

変化を生み出すロータリーの力の源は、世界35,000以上のクラブで活動する120万人の会員。友情で結ばれた会員は、地元での草の根の活動から、大規模な世界的活動まで、幅広く取り組んでいます。

奉仕と友情の輪を広げよう

ロータリーの目的

ロータリー会員は創設後の10年で、後に「ロータリーの目的」として知られる基本理念を定めました。1921年には平和の進展が追加され、1989年から1995年にかけて男女差のない言語が用いられるようになりました。

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。具体的には、次の各項を奨励することにある：

- 第1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること；
- 第2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリー各人の職業を高潔なものにすること；
- 第3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を实践すること；
- 第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。

ロータリアンの行動規範

ロータリアンとして、私は以下のように行動する。

1. 個人として、また事業において、高潔さと高い倫理基準をもって行動する。
2. 取引のすべてにおいて公正に努め、相手とその職業に対して尊重の念をもって接する。
3. 自分の職業スキルを生かして、若い人びとを導き、特別なニーズを抱える人びとを助け、地域社会や世界中の人びとの生活の質を高める。
4. ロータリーやほかのロータリアンの評判を落とすような言動は避ける。

四つのテスト

言行はこれに照らしてから

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるか どうか



公益財団法人ロータリー米山記念奨学会マンスリーニュース

ハイライト よねやま

Vol. 261
2021年12月14日
発行

1. 【訃報】理事長 齋藤直美氏 逝去

当会理事長の齋藤直美氏が、11月28日にご逝去されました。享年84歳でした。

故・齋藤理事長は1979年に豊田ロータリークラブに入会。2016-18年度国際ロータリー理事、2010-13年度国際ロータリー日本青少年交換委員会理事長、2006-07年度第2760地区(愛知県)ガバナーなど、ロータリーにおいて要職を歴任されました。

当会においては2018年9月から第七代理事長をお務めいただき、今年で2期2年目でした。理事長就任後は各国の学友会を精力的に訪問したほか、新型コロナウイルスの流行に伴い、奨学生の生活や健康を真っ先に憂慮し、奨学会と

して迅速な対応と情報開示を指示するなど、本奨学事業のために心を尽くされました。ここに謹んで哀悼の意を表し、お知らせ申し上げます。

学友会から続々と寄せられた追悼メッセージは当会でとりまとめ、斎藤病院を通じてご遺族へ届けてもらいました。

なお、後任理事長については、役員候補者指名委員会にて指名を受けた理事長候補者を理事会に諮り、決定されます。



2. 2022年の年賀状を学友がデザイン

当会では、評議員、理事、地区米山記念奨学委員長、奨学生、日本在住の学友などへ毎年約4,700枚の年賀状を送っています。来年の年賀状は、水墨画家として活躍する米山学友、姚明さん(2005-07/柳川RC)によるデザインです。姚さんはこの作品について「子虎たちが戯れる様を描きました。日本では世界の中でも特に少子化が進んでいるので、新年には虎の家族のように子宝に恵まれ、日本の社会がより活気に満ちたものになるよう、祈りを込めました」と語ります。



姚明(ヤオミン): 1967年、中国内モンゴル生まれ。1993年来日、福岡教育大学大学院美術教育学研究科にて修士号取得、九州産業大学大学院芸術研究科博士後期課程修了。現在、NPO法人日中国際交流センター理事長、九州産業大学芸術学部非常勤講師、臨沂大学(中国・山東省)客員教授。日本や中国など世界各国の美術館・画廊などで個展28回。日本外務大臣賞、文部科学省文部大臣賞、中国駐日本大使館賞受賞。



3. 寄付金速報 — 送金はお早めに —

11月までの寄付金は、前年同期と比べて3.0%減(普通寄付金:1.1%減、特別寄付金:3.9%減)、約2,100万円の減少となりました。未だ前年同期よりも減少のまま推移していますが、先月までの寄付累計額から比較すると1千万円ほど減少幅が縮まり、少しずつではあり

ますが、寄付状況も好転しているように感じられます。12月30日までに当会口座に着金した特別寄付金については、来年1月末日までに各クラブ宛に確定申告用領収証を発送します。年内お早目にご送金下さいますようよろしくお願いいたします。

4. 韓国米山学友会が2年目のZoom総会

11月20日、韓国米山学友会の総会が今年もオンラインで開催されました。韓国国内の学友だけでなく、日本、台湾、ネパール、タイから、また、当会からも水野副理事長、山崎副理事長、駒井常務理事、そして私、柚木が参加し、総勢74人となりました。



総会では、活躍した学友への感謝状授与、活動・会計報告、韓国米山学友会が支援する日本人奨学生と卒業生10人の近況報告、2023年に開催される「再会 in 関東」の告知が行われましたが、全体を通して日本人奨学生が同時通訳を行い、日本語で配信を聞くことができました。韓国米山学友会は今年10月に台湾米山学友会と友好関係を締結しており、署名入りの覚書と締結書も披露されました。

総会終了後、約1時間にわたり有志参加者で意見交換が行われました。コロナ禍にもかかわらず、学友会の活発な活動の様子が画面の向こうから伝わってきましたし、IT技術を駆使したスムーズな進行に感服しきりでした。

(事務局長 柚木裕子)

5. 第2820地区による世界的プロジェクト

第2820地区(茨城県)をホストとする Rotary TEAM JAPAN の呼び掛けにより、9月12日、世界のロータリアンがそれぞれの国や地域で、市民の方々とともに海岸や河川の清掃を一斉に行う一大イベント、「ロータリー地球環境保全プロジェクト」が行われました。



しかしこの時、緊急事態宣言下にあった第2820地区では、12日当日は環境保全をテーマとするオンラインパネルディスカッションを行いました。パネリストには、米山学友5人が登場し、モンゴル・ベトナム・中国・韓国・ケニア、それぞれの国での環境問題と保全に向けた取り組みについて発表しました。

そして、本来であれば9月12日に行われる予定であった海岸清掃は、再延期の末、11月3日に開催。当日は地区内全58クラブのロータリアンとともに、米山奨学生・学友が大勢参加しました。海岸清掃に使われた軍手2,000双は、茨城ロータリーEクラブ会員となった徐佳鋭さんが奉仕として提供したものだということです。



申告用領収書は来年1月にお送りします



ロータリー米山記念奨学会へのご寄付は税制優遇を受けることができ、「税額控除」か「所得控除」いずれか有利な方式を選択できます。今年1～12月に寄付をした方には、来年1月末までに申告用領収書をクラブ経由でお送りします。12月30日(木) 当会着金分までが対象です。

米山記念奨学会事務局は、12月28日(火)～1月5日(水)の間休業させていただきます。来年は1月6日(木)より通常業務となります。



公益財団法人ロータリー米山記念奨学会
〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3F
Tel : 03-3434-8681 Fax : 03-3578-8281

E-mail : highlight@rotary-yoneyama.or.jp
URL : http://www.rotary-yoneyama.or.jp/
編集担当 : 野津(のづ)・峯(みね)

皆さんのクラブでは、せっかく入ってきた新会員が3年も経たずにクラブを辞めていくケースがありませんか？ しかも、それが頻繁であるとコトは厄介かも知れませんよね。

その原因を探ったことがありますか？

その原因について、私の経験を踏まえて分析し、その障害を取り除き、新会員がクラブが楽しいと思うようになるための方策をお教えしましょう。

原因①シニア会員が自ら自覚すべきことを正しく認識していないこと

特に会長を経験したシニア会員は、もうクラブ内の運営については卒業した気分になって協力的ではなくなるのだ。クラブのことより、自分のことが優先するとの考えを持つ人がいる。

「俺はいままでクラブに十分に協力してきた。もういいだろう」という感覚だ。でも、クラブを辞めようとはしない。ロータリアンとしてのステータスは保持したいのだ。特に、各種の寄付金やニコニコボックスへの協力などには極めて消極的で、若手に対する手本になっていない。

また、せっかく入ってきた新会員なのに、シニア会員が上手におもてなしを出来ないことから新会員が居心地の悪さを感じ退会していくという場面が何度となくあった。その理由の一つに、シニア会員が自分たちの仲間とだけ同じテーブルに座り、他の会員を寄せ付けられない傾向があることだ。こういったシニア会員たちは言う。

「別に新会員を邪険にしているわけではない。向こうから胸襟を開いてくればいいことだ」例会は週に一回のこと、自分の仲間と一緒にいたい気持ちも分からないわけではないが、緊張している新会員のために、彼らの緊張を緩和してあげる役割も現役会員にはあると思う。新会員にしてみれば、せっかく入ったロータリーだ。出来るだけいろいろな人と仲良くなりたいと考えるのは自然なことだ。それに答えるのは、現役会員たちの責務だ。立派な先輩は、まず自分から新会員に話しかけ、席に案内し、隣りに座って雑談に応じる、という態度を取ってくれる。

私がクラブ会長のとき、日本のロータリークラブの創始クラブである東京ロータリークラブへメークにいったことがある。帝国ホテルの大会場に高崎クラブの会員10人を連れてお邪魔をした。その際に受けた先方の会員たちのフレンドリーでフランクな対応には痺れたものだ。流石は東京ロータリークラブだ、という感想を皆が持った。見渡せば、テレビで見掛ける顔ぶれがたくさんいる。そういった人たちが皆、親切なのだ。ロータリアンの鑑を見た気がした。

原因②新会員へのフォローが不足していること

新会員は、近い将来その周辺の友人たちを連れてきてくれるキーマンであり、その反面彼らを失う(クラブを辞める)ことはその周辺の新会員ターゲット層を根こそぎ失うことを意味する。彼らが、クラブに居続けることは有意義だと思える環境を作ることが大切なのだ。それには、彼らの紹介者やクラブのシニア会員、会長や幹事の役員たちのバックアップ(フォロー)が必要だ。また彼らに対し、単にお客様のようなおもてなしをするのではなく、彼らがロータリーを知り、好きになり、楽しむようになる教育を提供することが大切なのだ。それは本来、彼らを迎え入れたクラブが責任を持って取り組むべきことなのだが、それが出来るクラブは少ない。彼らはロータリー知識を得る機会が与えられることなく、ただ例会に出席し、ポツネンと昼メシを食べて帰るだけのロータリー活動になってしまう。これでは続くはずがない。

解決策①例会場での着席場所を毎回抽選にした

そこで、毎週、例会において同じテーブルに同じ会員、グループが座らない工夫として、私は着席場所を一年間、毎回抽選にした。そうすれば、会員は毎回いろいろな人と交流ができる。なんと楽しいことか、と独りで納得した。ところがそう決めた途端、シニア会員から多くの叱声、罵声が飛んできた。しかもその声は私にはなく、私の女房役の幹事に対して向けられた。でも、幹事はこう言ってひるまなかった。「これは、田中会長が決めたことです。田中さんは他人の言うことは聞かない人です。皆さん、ご存知でしょう？」

その後は、誰からもその件についてのクレームはなかったという。良いと思ったことはやり遂げることが大切だ。

解決策②メークを奨励した

私の会長年度では、「KOC (Know Other Clubs) キャンペーン」(他クラブを知ろう)というメーク奨励のイベントを行った。一年を通じ、他クラブへのメーク回数が一番多かった会員を会長が表彰するというものだ。その効用は次のとおり。

- i 他クラブに行って友人に会い、情報交換ができる。
- ii メークを知らない新会員を連れて行き、他クラブの雰囲気を経験させることができる。
- iii 他クラブにおける見習うべき点を知り、自クラブの運営に取り込むことができる。

実際、こういうことがあった。

- i 高崎市外の他クラブにメークに行き、ロータリーに入りたいという高崎の経営者を紹介してもらったケース
- ii 高崎市外の他クラブにメークに行き、高崎への転勤の報告とそのクラブに退会の挨拶をしている人を見かけ、クラブに誘ったケース
- iii 他クラブにメークに行き、その場で同業者から仕事が回ってきたケース
- iv 他クラブにメークに行き、合同の社会奉仕活動が決まったケース

以上、すべて実話である。つまりは、数多くのメーク経験が多くのチャンスに巡り合わせてくれる、という当然の帰結である。

KOCキャンペーンの一等賞は、なんと一年に32回のメークをした会員だった。

最近、私はKOCキャンペーンに続き、「メーク・ツアー」という他クラブ訪問の企画をしている。一人では訪問出来ないという若手会員数人を引き連れ、私がおの案内役を務めている。これまでに、国内のクラブはもとより海外のクラブにも数回行った。その経験者は延べで150人を超えている。皆、メークのベテランになった。

その他、解決策はたくさんある。皆で考えて、苦労して、会員増強活動の結果入ってきてくれた新会員を簡単には失わないで欲しい。

以上は、拙著『ロータリークラブに入ろう！』（幻冬舎ルネッサンス新書・2021年6月刊）から抜粋した。詳しくは、拙著を参照してください。

第1地域 ロータリーコーディネーター補佐 田中 久夫(高崎RC)

予想もしない長いコロナ禍で、私達に力をくれたのは若い日本人達でした。すぐ頭に浮かぶのは松山英樹さん、藤井聡太さん、反田恭平さん、そして大谷翔平さん達です。彼らの共通点は、小さい頃に憧れの人がいて、そして具体的な目標があったということです。その具体的な目標に向かって時間を積み重ね、誰もが不可能だといった目標を達成しています。

具体的な目標をインプットすると、不思議なことにその方向に思考そして行動が向きます。それをロータリーに当てはめると、実現できないとされた“ポリオ根絶”を地道に35年かけ、今まさに達成されようとしています。この様に世界規模で活動していることは、現在も着々と世間に取り上げられてはおりますが、達成した暁には公共イメージとして大いにアピールできると考えます。

その様な中、今年度「ロータリー奉仕デー」のもと、環境問題に取り組み「海岸美化プロジェクト」を第2820地区が発案し、ロータリアンとその家族と共に世界規模で行われ大成功をおさめました。ローターアクター、インターアクター、米山奨学生、そして地域のたくさんの方々に参加して頂き、多くのマスメディアを通じて公共イメージアップに貢献致しました。

コロナ禍も先行きは不透明ですが、2021年11月現在の状況として日本の新規感染者は、世界が奇跡と驚くほど減少しています。その理由はまだ誰もわかっていませんが、日本人の特性の清潔感そして他人を思いやる心が何らかの形で寄与している可能性があると思います。さらにロータリーは素晴らしい資質、キャリアそして人間力を持ち合わせた他に類のない人材の宝庫です。この「海岸美化プロジェクト」が多方面に伸び、又それらが長期にわたる可能性を秘めていると確信しております。

冒頭のもう一つのヒントは、なるべく若い時からロータリーの情報に接してほしいということです。公共イメージにおいて10年、20年の長期目標として、若者にロータリーの真髄を浸透させ、将来ロータリーに参加してもらう具体的なプロジェクトのプランも大切であると考えます。卓話などはロータリー内だけでなく、地域の学校などに出向くことも視野にいれ、又もし地域で若者のインフルエンサー等が存在していたら、ロータリーのアドバイザーになって頂くのも一考であります。そして漫画、アニメなどでロータリアンが如何に心豊かに人生を送れるかなどをわかりやすくアピールしたいものです。

この様に、地域を良くしたいとの熱意を世界に発信してアピールできること程公共のイメージアップに繋がることはありません。これからの活動を応援し、また皆様の御協力を御願ひ致します。

第1地域 ロータリー公共イメージコーディネーター補佐 保延 輝文(石岡RC)



本年もよろしくお願ひします。

第2640地区 会員数報告(2021年11月)

クラブ名	会員数				入会			退会			クラブ名	会員数				入会			退会		
	21.7.1	内女性	21.11月末	内女性	11月	内女性	累計	11月	内女性	累計		21.7.1	内女性	21.11月末	内女性	11月	内女性	累計	11月	内女性	累計
串本	9	1	9	1	0	0	0	0	0	0	松原	15	0	15	0	0	0	0	0	0	0
那智勝浦	12	0	12	0	0	0	0	0	0	0	松原中	26	4	26	4	0	0	0	0	0	0
新宮	46	2	47	2	0	0	1	0	0	0	美原	5	1	5	1	0	0	0	0	0	0
白浜	10	1	10	1	0	0	0	0	0	0	大阪狭山	7	1	7	1	0	0	0	0	0	0
田辺	80	3	82	3	1	0	2	0	0	0	太子	17	1	18	1	0	0	2	0	0	1
田辺東	39	3	38	3	0	0	0	0	0	1	富田林	34	0	35	0	0	0	1	0	0	0
田辺はまゆう	27	4	29	4	0	0	2	0	0	0	ワールド大塚 ロータリークラブ	9	1	9	1	0	0	0	0	0	0
有田	26	1	27	1	0	0	1	0	0	0	泉佐野	20	0	20	0	0	0	0	0	0	0
有田南	27	1	26	1	0	0	0	0	0	1	貝塚	16	3	16	3	0	0	0	0	0	0
有田2000	17	0	17	0	0	0	0	0	0	0	貝塚コスモス	12	3	11	3	0	0	0	0	0	1
御坊	42	3	42	3	0	0	0	0	0	0	関西国際空港	18	1	18	1	0	0	0	0	0	0
御坊東	15	0	15	0	0	0	0	0	0	0	岸和田	33	1	31	1	0	0	0	0	0	2
御坊南	15	6	15	6	0	0	0	0	0	0	岸和田東	40	6	39	6	0	0	0	0	0	1
海南	9	0	9	0	0	0	0	0	0	0	岸和田南	9	0	9	0	0	0	0	0	0	0
海南東	40	5	41	6	0	0	1	0	0	0	KUMATORI 向日葵	9	2	9	2	0	0	0	0	0	0
海南西	18	2	18	2	0	0	0	0	0	0	りんくう泉佐野	15	3	16	3	0	0	1	0	0	0
Rotary E-Club Sunrise of Japan	7	2	7	2	0	0	0	0	0	0	羽衣	17	1	17	1	0	0	0	0	0	0
和歌山	72	1	74	2	0	0	3	0	0	1	和泉	21	0	24	0	1	0	3	0	0	0
和歌山アゼリア	27	9	28	9	0	0	1	0	0	0	泉大津	43	3	43	3	0	0	0	0	0	0
和歌山東	45	0	45	0	0	0	0	0	0	0	和泉南	56	2	56	2	0	0	1	0	0	0
和歌山城南	39	1	40	1	0	0	1	0	0	0	大阪金剛	12	1	12	1	0	0	0	0	0	0
和歌山中	22	0	22	0	0	0	0	0	0	0	高石	25	2	25	2	0	0	0	0	0	0
和歌山北	30	1	31	1	0	0	1	0	0	0	高師浜	9	1	9	1	0	0	0	0	0	0
和歌山南	79	5	80	5	0	0	1	0	0	0	堺	40	4	45	5	0	0	6	1	0	1
和歌山東南	35	6	35	6	0	0	0	0	0	0	堺東	19	3	19	3	0	0	0	0	0	0
和歌山西	10	1	10	1	0	0	0	0	0	0	堺泉ヶ丘	20	2	21	3	0	0	1	0	0	0
橋本	46	0	46	0	0	0	1	0	0	0	堺中	21	3	21	3	0	0	0	0	0	0
岩出	23	1	24	1	0	0	1	0	0	0	堺北	31	1	30	1	0	0	0	0	0	1
河内長野高野街道	17	3	17	3	0	0	0	0	0	0	堺おおいずみ	27	3	27	3	0	0	0	0	0	0
粉河	17	1	17	1	0	0	0	0	0	0	堺フェニックス	9	4	9	4	0	0	0	0	0	0
高野山	19	0	18	0	0	0	0	0	0	1	堺清陵	23	4	22	4	0	0	0	0	0	1
羽曳野	9	0	9	0	0	0	0	0	0	0	堺南	9	0	9	0	0	0	0	0	0	0
河内長野	18	4	19	4	1	0	1	0	0	0	計	1,634	129	1,652	133	3	0	32	1	0	12
河内長野東	20	1	20	1	0	0	0	0	0	0											



クラブ数	2021年7月1日 会員数				2021年11月末 会員数				11月入会				11月退会				増減	
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性		
66	1,505	129	1,519	133	3	0	1	0	2	0								
	1,634		1,652		3		1		2									

※和泉南RC 7/1付け 1名入会

※橋本RC 7/1付け 1名入会

2021-2022

国際ロータリー第2640地区

地区大会の御案内



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

『広げようロータリーの光を!』

2022年3月26日(土)・27日(日)

〈場所〉ホテル・アゴーラ リージェンシー大阪堺
フェニーチェ堺



国際ロータリー第2640地区

ガバナー : 豊岡 敬
地区大会実行委員長 : 堀野 俊男
地区大会実行副委員長 : 橋本 直樹
地区大会実行幹事 : 田毎 宣隆

2021-2022年度国際ロータリー第2640地区の地区大会は、ガバナー排出クラブである富田林ロータリークラブが務めさせていただきます。閉会の令和4年3月までにはこの未曾有のコロナ禍が過ぎ去り、地区のロータリー会員全員が集える地区大会になってほしいと思っております。さて、大会を通じてロータリーソングは、富田林ロータリークラブの会員でオペラ歌手の松澤政也が斉唱させていただきます。

式典閉会後は、閉会の点鐘まで大会をお楽しみ頂けますように努めてまいりますので、奮ってご参加の程よろしくお願ひ申し上げます。コロナ禍を克服した記念すべき大会となりますよう会員の皆様のご協力もお願ひ申し上げます。

地区大会実行委員長 堀野 俊男 地区大会実行副委員長 橋本 直樹 地区大会実行幹事 田毎 宣隆

ホストクラブ: 富田林ロータリークラブ

コ・ホストクラブ: 羽曳野ロータリークラブ
太子ロータリークラブ

記念ゴルフ大会

競技方法: ダブルペリア方式

2022年3月9日(水)

会場: 大阪ゴルフクラブ

〒599-0303 大阪府泉南郡岬町深日31
TEL 072-492-2011

参加費用 参加登録費 **¥10,000** (参加費、パーティー費、賞品代)

※プレイ費については各自フロントにてご精算願います。

参加定員 **200名** (ロータリーファミリー参加可)

※先着順にて締め切ります。

地区大会記念ゴルフ大会

実行委員長 田中 正章(富田林)

副実行委員長 和田 耕司(和歌山北)、時任 隼成(富田林)、内海 茂(太子)



1月の行事予定表

日付	行 事	場 所
8日(土)	地区財務委員会会議	ガバナー事務所
	危機管理委員会会議	ガバナー事務所
	第7回ガバナー補佐・幹事合同会議	けやきONE401
	第1回次年度ガバナー補佐・幹事合同会議	けやきONE401
16日(日)	2022学年度米山奨学生選考会	ガバナー事務所 (ZOOM)
	国際協議会 (16~20日)	米国フロリダ州 オーランド
20日(木)	ライラ委員会会議	白崎海岸 県立自然公園
22日(土)	第6回RLI DL研修	ZOOM
23日(日)	アクト地区連絡協議会	松原商工会議所
29日(土)	第4回ローターアクト委員会会議	ガバナー事務所 (ZOOM可)
30日(日)	クラブ青少年関連委員長会議	和歌山城ホール

ガバナー月信の表紙写真 ご提供のお願い!

ガバナー月信の表紙写真をご提供ください。

第2640地域内でご自身が撮影された写真(著作物の利用を許可できる作品)をご提供ください。

風景など、地域の様子をご紹介していただける写真(データ)をお願いします。

なお、ご提供が多数ある場合は、編集会議で協議し、決めさせていただきますので、予め、ご了解ください。 何卒、ご協力をお願い申し上げます。

本年もよろしくお願ひします。

ROTARY ROTARY

国際ロータリー
第2640地区 ガバナー事務所

〒640-8331
和歌山市美園町3-34 けやきONE 301号室
TEL (073) 426-2640
FAX (073) 426-2660
e-mail : toyooka@rid2640g.com

JR和歌山駅西口から徒歩7分
阪和道、和歌山インターから約10分

